

令和7年度第3回「阪南2区人工干潟から始めるSDGs活動」干潟観察会の概要

- 日 時 令和7年 10月5日(日) 10:00~15:00
- 場 所 阪南2区人工干潟(岸和田市)
- 主 催 貝塚市立自然遊学館、共和海建グループ、CIFER・コア
- 協 力 大阪港湾局、(公財)大阪府都市整備推進センター、堺泉北埠頭(株)、阪南2区連絡協議会、全国豊かな海づくり大会推進グループ
- 参加者数 92名(貝塚市立自然遊学館31名(うち子供10名)、共和海建グループ22名、CIFER・コア39名(うち子供4名、大学生2名、海外留学生3名(国際人材育成事業 研修生))
- 行 程 10:00 岸和田地藏浜マルシェ前集合
挨拶(CIFER・コア 矢持副理事長、共和海建グループ 石田氏)
10:10 出航。船内で大阪港湾局から干潟造成の経緯など説明
10:30 講師紹介、注意事項など
【講師】貝塚市立自然遊学館 山田 浩二氏(甲殻類担当)
きしわだ自然資料館 藤本 龍之介氏(魚類担当)
貝塚市立自然遊学館 児嶋 格氏(貝類担当)
和歌山大学教育学部 古賀 庸憲 教授
10:40 写真撮影、干潟観察、護岸清掃(共和海建グループ)
12:00 観察会終了 乗船
12:30 昼食(マルシェ BBQ 会場)
13:30 採取生物の同定と講師による説明
15:00 解散

○活動内容

今年度3回目となる「阪南2区人工干潟からはじめるSDGs活動」では、貝塚市立自然遊学館の山田学芸員に全体指導をしていただき、干潟の生き物観察会を実施しました。

当日は小雨が降る中での開催となりましたが、気温が低く過ごしやすい気候で、参加者の皆さんも熱心に観察に取り組んでいました。毎回人気のマテガイ採りは今回も注目を集めました。数はかなり少なくなっていました。干潟にはマテガイの殻が多く見られ、貝類担当の児嶋先生によると、今年の記録的な暑さと少ない雨量の影響で多くが死滅した可能性があるとのことでした。一方で、カニや岩場に生息する貝類などは多数観察することができ、参加者の皆さんはそれぞれに干潟の多様な生態に触れ、充実した時間を過ごしていました。





CIFER・コア矢持副理事長の挨拶



共和海建グループによる護岸清掃



観察会の様子



留学生もマテガイ採取に挑戦



マテガイの採取に成功



種の同定作業



ヒザラガイ (岩に付く様子と腹足側)



オオヘビガイ



魚類 (ボラやハゼの仲間など)



タイワンガザミ